

新幹線プレス

2014年2月17日 | No.151

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

なんと！

交検の「斜め特休」が9日間も！

3月ダイヤ改正に伴う検修業務量で「特休分散付与」が増大！

本日2月17日、業務委員会が開催されました。その中で会社は、平成26年3月15日ダイヤ改正に伴う「検修業務量」について提示しました。その中で明らかになったのは、交番検査が年間で2,286編成（東京交番検査、大阪交番検査合わせて）発生するというものです。これによって、一人年間120日の休日を付与するためには、交検の人がすべての休みを全員まとめて休むのではなく、9日分の特休は個々に分散して付与するというものです。現在も1日程度発生していますが、これが8日分も増えることとなります。

また、これは休日が土曜・日曜・祝日に関係なく、運用に合わせて指定することとなります。

交番検査は土・日・祝日、年末年始は休ませろ！！

地本は、これに対して「なぜ今回はこのように増大するのか？ 交検は土・日・祝日を休日にするを基本にするべきだ！」と強く要求しました。

会社は、「お客様の乗りが好調に推移しており、今後も続くと予想している。休日は必ずしも土・日・祝日にとは決まっていない。」という誠意のない回答でした。

地本は、繰り返し「この間要求しているように交検は土・日・祝日を基本にすること。さらに、年末年始も元旦出勤はさせずに4連休確保すること」を強く要請しました。

交番検査における生活設計が立てにくい変則的な休日指定を見直し、労働条件の改善のために声を大にして言おう！！